

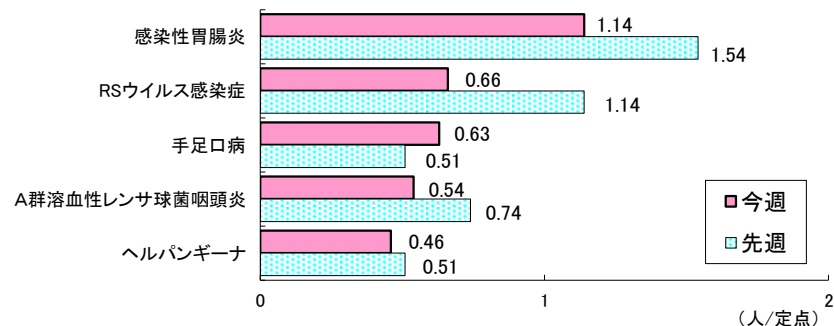


【第41週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で26%減少しています。保健所別では、湯沢で増加、大館で同規模、秋田市、北秋田、能代、秋田中央、由利本荘、大仙、横手で減少しています。
2. RSウイルス感染症は、県全体で42%減少しています。保健所別では、北秋田、由利本荘、横手で増加、秋田市、大館、能代、秋田中央、湯沢で減少しています。
3. 手足口病は、県全体で24%増加しています。保健所別では、大館、北秋田、能代、横手で増加、秋田市、由利本荘で減少しています。

秋田県の定点医療機関における主要5疾患の発生規模



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

(人/定点)

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減			
RSウイルス感染症	1.14	0.66	↘	2.00	0.71	↘	0.75		↘		0.50	↗	1.00	0.33	↘	2.25	1.50	↘		0.25	↗				1.67	2.00	↗	1.50	0.75	↘
インフルエンザ	0.02		↘													0.17		↘												
咽頭結膜熱	0.17	0.06	↘	0.43		↘		0.25	↗	1.00	0.50	↘							0.25		↘									
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.74	0.54	↘	1.00	0.86	↘	0.25		↘						3.00	2.75	↘	0.25		↘		0.25	↗	0.33	0.33		1.00		↘	
感染性胃腸炎	1.54	1.14	↘	1.57	0.71	↘	2.00	2.00		1.00	0.50	↘	4.67	3.33	↘	1.75	1.50	↘	0.25		↘	1.00	0.75	↘	1.67	1.33	↘	0.50	0.75	↗
水痘	0.14	0.23	↗	0.29	0.43	↗	0.25		↘		1.00	↗	0.67		↘				0.25	↗					0.67	↗				
手足口病	0.51	0.63	↗	0.14		↘	0.50	1.50	↗		3.00	↗	1.67	2.33	↗				2.50	0.50	↘					0.33	↗			
伝染性紅斑		0.11	↗					0.50	↗													0.25	↗		0.33	↗				
突発性発しん	0.17	0.20	↗	0.43	0.57	↗	0.50		↘		0.50	↗					0.25	↗							0.33	↗	0.25		↘	
ヘルパンギーナ	0.51	0.46	↘	1.29	0.43	↘				1.50	3.00	↗	0.33		↘		0.25	↗		0.25	↗	0.25	0.50	↗	1.33	0.33	↘		0.50	↗
流行性耳下腺炎																														
川崎病		0.03	↗																0.25	↗										
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*									*	*			
流行性角結膜炎	0.14	0.14		0.33		↘				*	*		*	*				1.00	↗							*	*			
細菌性髄膜炎		0.13	↗													*	*											1.00	↗	
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎	2.13	1.63	↘	3.00		↘				6.00	5.00	↘	3.00	1.00	↘	*	*		1.00	1.00		1.00		↘		1.00	↗	3.00	5.00	↗
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。

「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から2人、能代保健所管内から2人、秋田中央保健所管内から1人、報告されました。
・三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
・四類感染症のレジオネラ症が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
・五類感染症の百日咳が秋田市保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

Table with 4 columns: 類型, 疾患名, 1週-40週, 41週. Lists various infectious diseases and their counts for the week and the year-to-date.

Table with 4 columns: 類型, 疾患名, 1週-40週, 41週. Lists various infectious diseases and their counts for the week and the year-to-date.

トピック

<マイコプラズマ肺炎について>

マイコプラズマ肺炎はマイコプラズマという細菌が原因の肺炎で、例年、秋から冬にかけて報告数が増加する傾向にあります(図)。保育所、幼稚園、小学校等では、集団感染を起こすこともありますので注意が必要です。

■マイコプラズマ肺炎について

マイコプラズマ肺炎は、特に幼児期から小学生の子供がかかりやすく、感染すると2~3週間の潜伏期間を経て、発熱、全身倦怠感(だるさ)、頭痛、痰を伴わない咳などの症状がみられます。咳は熱が下がった後も長期(3~4週間)にわたって続くのが特徴です。中耳炎、心筋炎、髄膜炎、脳炎などを併発することがあります。

■予防について

マイコプラズマ肺炎に対するワクチン(予防接種)はありません。主な感染経路は患者の咳・くしゃみなどによる飛沫感染のため、手洗い、うがい等の感染対策を心がけ、咳の症状がある場合には咳エチケットに注意しましょう。

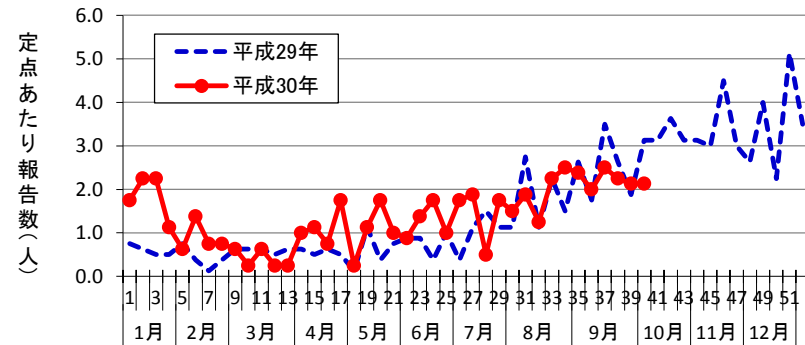


図 秋田県におけるマイコプラズマ肺炎の定点あたり報告数の推移 (平成30年第41週現在)

社会福祉施設等における感染性胃腸炎の集団発生について

感染性胃腸炎の集団発生報告が1件ありました。

No. 25

発生届出日 平成30年10月10日
受付保健所 横手保健所
施設名称 みんなのみらいよこて卸町園
有症者数 園児12名のうち6名
把握期間 9月29日から10月10日まで
症状 下痢
検査状況 6名からアデノウイルスを検出

★感染性胃腸炎の集団発生状況

平成30年度 25施設 発症者 371名
<保育所・幼稚園 25>
【参考】
平成29年度 42施設 発症者 637名
<社会福祉施設 8、保育所・幼稚園 34>

※原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
水痘	北秋田(1.00)	-

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大湯村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		